



No.006 日田彦山線の線路を作れば問題は解決するか？ 鉄道もバスもタクシーもマイカーも全て使って住民に 便利な移動方法を考えるべし。



参考画像:JR九州

一昨年の九州北部豪雨で日田彦山線・添田町一夜明間が不通となりました。この復旧に向けた検討会議が進んでいますが、今なお見込みは立っていません。

誰がいくら負担して線路を作るか、議論はそこに集中しているようです。確かにマイカーで通学の送り迎えをしなければならない住民にとって現状は深刻です。しかし2年以上経って線路ができたら問題は全て解決するのでしょうか。

地域住民が行きたい時に行きたい所へ行ける。その理想に近づけるために、鉄道もバスもタクシーもマイカーも全てを使って、全ての関係者を巻き込んで、どうやって地域住民の目線で移動しやすい便利な地域を作るかを考えないと、何も解決しないのではないか。

世界ではまさにモビリティのイノベーションが進んでいますが、それは自動運転の技術開発だけを指すのではありません。従来の法的枠組みや業界の棲み分けを壊して住民目線で新しい秩序を作るのが、破壊的イノベーションです。